



思い出いっぱい修学旅行

班のめあて

班のみんなと協力して、
目的やきまりを守って
5分前行動を心がけよう。

6年1組2班



平和記念公園

平和祈念像 平和の泉

右手は、原爆の平和のおそろしさを、
左手は、平和の意を大切にしてい
ます。大きさは、右手に立って約13.
7mあり、雷針を入ると約14
mになります。
平和の象徴であるハトが羽を広
げた姿をイメージした噴水があ
ります。泉にあってたまりな
「のどが水には、油のよう
した。一面に浮いていくと
がしても水が欲しくな
の浮いたまみ飲ました。」と
書いてあります。



感想

私は、この平和公園に
来て改めて原爆の恐ろ
しさを学びました。よ
く祈念像が思ったので
きました。

山里小学校

■裏手にある防空ごう跡

当時、この小学校は警防団の本部や救護所があり、運動場のまわりには18の防空隊がほられ学校や近所のひなん場所となっていました。



■あの子らの碑

この碑は、山里国民学校、教職員、児童、親、兄弟、姉妹の霊をなぐさめ、永遠の平和を願って建てられたものです。僕は、ここの場所に立ち、亡くなられた方のご冥福を改めて祈りました。



如己堂

如己堂は、原爆落下中心地から北へ1km弱のところにあります。永井博士が、住んでいた如己堂は、たった2畳しかない小さな家です。永井博士は、原爆の被害にあいながらも、また、病気をかかえながらも、この小さな家で原爆障害の研究と平和を訴える数々の本を書いています。そして、5月3日に43才の若さで亡くなりました。ぼくは、このことから、永井博士は、病気になるのに、他の人の病気を治す研究をしたりして、すごいと思うまじい。永井博士の平和に対する思いをとても強く感じました。そして、その思いを、受け継いでいこうと思います。



D - N

原爆資料館

原爆資料館では、とけたガラス、原爆の仕組み等をはじめ、テレビなどではあまり放送されないような、痛々しい光景を目のあたりにしました。
私が一番心に残ったのは、原爆が投下された11時2分で止まってしまった時計でした。
受けた印象が一番強かったです。

それは、その時で時が止まってしまったことが目に見える形で存在していたからです。
11時2分、多くの人の命が奪われたことに複雑な気持ちを覚えました。改めて戦争の恐ろしさと、平和の大切さを実感しました。



H・K

かたむいた門柱

長崎大学

現在は長崎大学医学部の裏門(図書館の裏)に12m高さ2.1m(土台部分をふくむ)の旧長崎医科大学時代の正門門柱が当時のまま保存されています。



原爆の爆風(秒速280m)の影響で、前方に約12cmずれ後方は台座と約15cmうきあがり正面に約10cm傾いたままになっています。

かたむいた門柱はすごいと思いました。横にかたむいたままたっているからすごいと思いました。また、それとともに、爆風のすごさを改めて感じ、やはり原爆はとても恐ろしいものだというのを感じました。

一本柱の鳥居

一本になった鳥居

一本になった鳥居は、きせき的にたおれずに今も右のようにたっています。

こわれたほうの鳥居

1本だけ、立っている鳥居のこわれたほうは、原子爆弾の爆風によってこわれたものです。今は、たおれた所にあります。原子爆弾の爆風は、とてもおそろしいと思いました。

R・M



ハウステンボス



ハウステンボスは森の家

ハウステンボスとは、オランダ語で森の家という意味です。オランダの街をイメージしてつくられました。花がいっぱいさいていてきれいでした。レトロな感じでかわいかったです。

怖かったお化け屋敷

私達は、2つのお化け屋敷に入りました。1つ目は先生もいっしょに行ったので怖くありませんでした。2つ目のお化け屋敷は、子供だけに行ったので怖くて泣いてしまいました。でも、とても楽しかったです。

